

『このたたかいがなかったら』

作詩：覚 和歌子

A .. このたたかいがなかったら

子どもは物売りに出かけずにすんだ

毎日欠かさず学校へ通えた

B .. けれどこのたたかいがなかったら

家族を残してやってきた異国の兵士と

友だちになることはできなかった

C .. このたたかいがなかったら

恋人たちははなればなれにならなかった

さびしさで胸をかきむしることもなかった

D .. このたたかいがなかったら

今ごろつつましい結婚式をあげていた

E
..
けれどこのたたかいがなかったら

いのちとひきかえに深まる愛を

知らないままで老いたかもしれない

F
..
このたたかいがなかったら

町一番の食堂もこわされなかった

G
..
ひとのにぎわいも続いていて

働き口にもこまらなかった

H
..
けれどこのたたかいがなかったら

世界はこの国をかえりみなかった

国の名前さえ思い出さなかった

渡部..このたたかいがなかったら

死ななくてすむ子どもがいた

死ななくてすむ親がいた

そしてこのたたかいがなかったら

私はここに来なかった

混乱のまっただなかにも

子どものはじける笑顔があることと

それに救われるかなしみがあることを

たぶん死ぬまで知らずにいた

配分

ABCDEFGHIHの8名の方